



森林公園駅前会場篇

今月は森林公園駅前会場をウォッチング。
JRで森林公園駅を降りると、すぐ目の前にあります。
正面に見えるインフォメーションセンターを中心に
全9棟のモデルハウスが並んでいます。

住宅収納スペシャリスト
整理収納アドバイザー
宅地建物取引士

米村 大子
Hiroko Yonemura



家事効率の良い住まいは「片づけやすさ」に比例します。
のべ900件以上の片づけの現場を解決してきた整理収納
アドバイザーの目線と住宅収納の専門家＝住宅収納
スペシャリストの目線で「おうち時間が快適になる収納
の見どころ・イチオシポイント」をお伝えしていきます。

一条工務店

こちらのモデルハウスのキャッチコピーは「ふれあいと独立性を考慮した三世代同居を想定」。

玄関を2カ所に設置し、キッチン、見た目も機能もそれぞれに個性のある2タイプを提案。ここは見どころです！メイン玄関から入ると明るいエントランスが広がり、右手には大容量の作り付け収納が設置され「暮らしやすい生活空間」が想像できます。この先はどんな家づくりになっているのだろう!!とワクワクさせるモデルハウスです。

1階はリビングとダイニングを分けたタイプで、ライフスタイルが違う二世帯同居や、来客の多い家族にとって参考にな

る間取りです。水回りはキッチンの後ろに集約し、朝起きてから夜寝るまでの1日の流れと生活動線がイメージしやすいつくりになっています。

2階は、キッチンとリビングを一緒にしたタイプで、LDKで過ごす時間の多いご家族に喜ばれそう。同じ広さでも、家族の暮らし方が違えば間取りや使い方も違ってきます。キッチンは素材や質感で大きく印象が変わるスペース。どれを選ぶかで暮らしのイメージもガラッと一新できます。

1階と2階のそれぞれに、住まい方の違いを体験できる家づくり。実際の暮らしを頭に描きながら見学してみると、ヒントや発見がたくさんあります。



くつろぎのひとつときを演出する1階リビング



和やかな食卓風景をイメージした1階DK



家族のふれあいや一体感を大切に2階LDK



大開口窓からの陽射しが心地よいリビング



2面を生かしたワイドなクローゼット



家族との会話も弾むオープンタイプキッチン

アイルホーム

道産木材を用いた温かみのある暮らしをイメージ。将来の家族形態の変化に柔軟に対応できる家づくりを目指したコンセプト住宅です。

たとえば4人家族であっても、早ければ10年後、子供は進学や就職で別の暮らしになることもあり、また年老いた両親との同居もある。そんな変化を受け止めながら、生活空間を有効に活用していく提案が盛り込まれています。

1階の和洋室の使い方・回遊動線の活用・収納スペースの取り方など“その先を見据えた”暮らしやすさの工夫がすみずみに感じられます。

新築の際、“今の暮らし”をベースに、

リビングにはスタディーコーナーを、バンクトリーは広めに、趣味のモノを保管したいから玄関には土間を、と“モノを置くための空間”をつくりたくなりますが、限られたスペースで、家族とモノがいつまでも共存できるような「心地よいゾーニング」を心掛けることが大切です。

モデルハウスの壁には[リビング8畳][吹抜け7畳]など空間の広さを紹介しています。広さを数字で確認することはとても大切。実際に、「坪数を変えてこのままの間取りで建築したい」というお客様がいらっしまったそう。リアルなモデルハウスで、家族の暮らしを想像しながら、理想のマイホームを実現してください。